

# 令和5年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

### 2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

## 3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

## 4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

# 令和5年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	英語	国語	数学	英語
3年	学校	190	71	54	49	3.9	7.2	3.7
	大阪市	—	67	49	44	5.2	11.0	6.6
4月18日	全国	—	69.8	51.0	45.6	4.6	9.6	5.7

## 2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年	学校	186	63.7	56.5	53.2	54.8	60.1	9.9	2.5	9.9	6.3	4.6
	大阪市	—	62.3	54.2	51.9	47.8	54.3	9.9	2.9	10.6	8.0	6.2
	大阪府	—	62.1	54.7	52.2	47.6	54.2	10.3	3.1	11.2	9.0	6.5
2年	学校	164	70.9	52.0	59.7	44.3	64.4	6.2	3.6	8.8	8.9	5.2
	大阪市	—	66.7	54.6	52.2	39.8	57.2	8.2	3.2	11.2	11.1	8.6
	大阪府	—	66.8	54.2	52.2	40.3	57.1	8.3	3.5	12.0	11.8	8.9
1年	学校	197	69.5	57.6	68.8	64.8	74.9	5.8	4.0	4.8	1.2	2.6
	大阪市	—	60.6	56.0	55.4	62.2	64.1	8.7	5.2	9.1	1.9	4.3
	大阪府	—	60.8	-	54.7	-	64.1	9.6	-	10.3	-	4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はB問題を選択

※ 3年生の理科はC問題を選択

## 3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
			【リーディング】	【リスニング】	【ライティング】	【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3年	学校	173	113.7	119.1	162.2	114.6
	大阪市	—	101.3	107.7	137.9	102.2

## 4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	162	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2年男子	学校	26.14	24.52	44.44	49.01	77.31	-	8.10	195.06	18.52	39.32
	大阪市	28.62	26.21	42.04	51.65	79.05	-	8.05	194.78	19.88	40.79
	全国	29.02	25.82	44.16	51.22	78.07	409.02	8.01	197.02	20.40	41.32
2年女子	学校	20.77	19.97	43.11	41.84	46.19	-	9.18	157.95	10.23	41.91
	大阪市	23.11	22.12	44.78	46.25	52.11	-	9.03	165.29	12.10	46.99
	全国	23.15	21.62	46.27	45.65	50.70	306.26	8.95	166.34	12.43	47.22

令和5年度 花乃井中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

平均正答率は、3教科とも全国を上回った。平均無回答率は、3教科とも全国を下回った。全体的には、これまでの取り組みの成果が表れたと考える。

〈国語〉

問題形式が記述式(全4問)の3問で、平均無回答率が全国を下回った。

問題形式が選択式(全7問)の5問で、平均正答率が全国を下回った。

「話すこと・書くこと」の領域(3問中2問が選択式)の平均正答率が全国を下回った(78.8% 全国82.2%)。

〈数学〉

「データの活用」の領域の平均正答率が全国を下回った(46.2% 全国48.5%)。

問題番号5(データの活用・累積度数を求める設問)で、平均正答率が全国を下回った(25.9% 全国46.1%)。

〈英語〉

放送問題(聞くこと)の1(1)、1(2)で、平均正答率が全国を下回った(1(1):72.3% 全国79.0% 1(2):61.2% 全国64.4%)。

〈生徒質問紙〉

最も肯定的な回答(当てはまる等)をした生徒の割合が、大阪市、全国を下回る項目がある。

学校の授業時間以外の1日あたりの読書時間、勉強時間に関する質問に対して「全くしない」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

平均正答率は、5教科とも大阪府を上回った。平均無回答率は、5教科とも大阪府を下回った。領域や評価の観点、問題形式、英語の「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」別に大阪府と比較しても平均的に大阪府を上回った。

○中学生チャレンジテスト(1年生・2年生)・中学生チャレンジテストplus(1年生)

平均正答率は、概ね大阪府を上回った。平均無回答率は、大阪府を下回るか同程度であった。

○大阪市英語力調査(GTEC)

CEFR A1 レベル相当以上の中学3年生の割合は、64.9%でした(大阪市平均:54.3%)。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査

男子が3種目と体力合計点で、女子が1種目で前年を上回った。体力合計点は、全国・大阪市平均を下回った。1週間の運動時間が60分未満の生徒の割合は、全国平均を上回っているが(女子が顕著)、運動やスポーツが好き・大切と考える生徒の割合では大きな差はない(男子は全国平均を下回っているが、女子は同程度)。

【今後に向けて】

学習内容に関する課題(数学・データの活用等)を克服できるよう、授業等で対処していく。生徒が主体的、自主的に学習に取り組めるよう、指導内容・方法の改善に引き続き取り組みます。

他校と比較すると施設面で不利な点はあるが、進んで運動しようとする意欲を高める取り組みを継続していく。

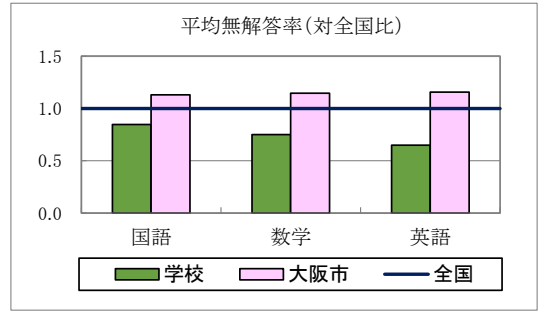
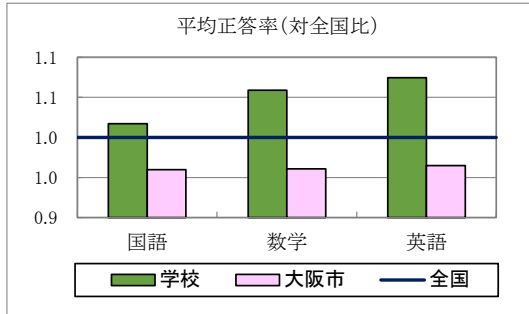
令和5年度 花乃井中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	71	54	49
大阪市	67	49	44
全国	69.8	51.0	45.6

	平均無解答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	3.9	7.2	3.7
大阪市	5.2	11.0	6.6
全国	4.6	9.6	5.7

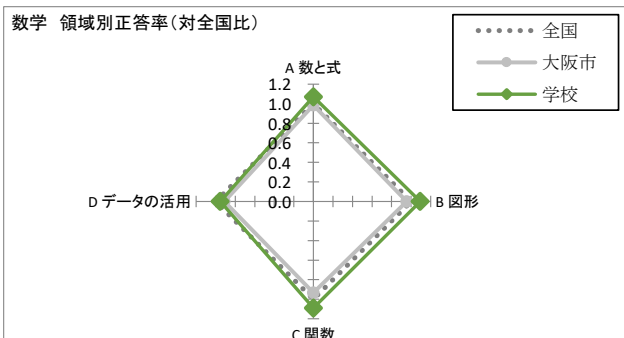
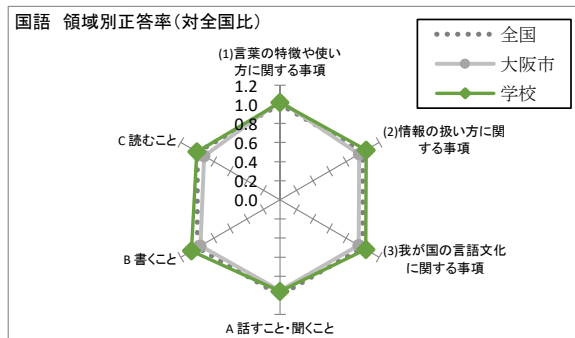
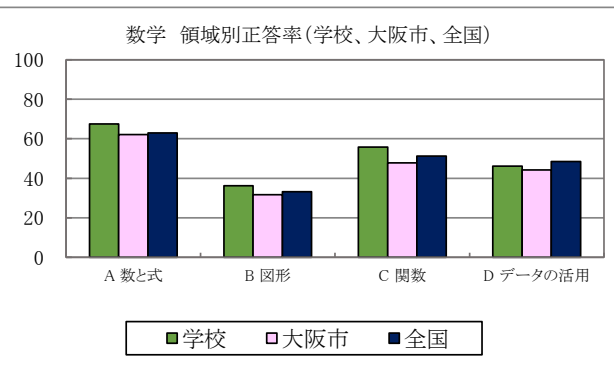
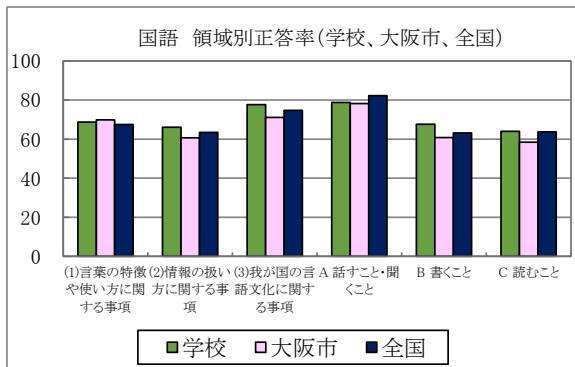


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	68.8	69.8	67.5
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	66.1	60.7	63.4
(3)我が国の言語文化に 関する事項	3	77.6	71.1	74.7
A 話すこと・聞くこと	3	78.8	78.2	82.2
B 書くこと	2	67.7	60.8	63.2
C 読むこと	4	64.0	58.5	63.7

【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	67.5	62.1	63.0
B 図形	3	36.3	31.7	33.2
C 関数	4	55.8	47.8	51.2
D データの活用	3	46.2	44.2	48.5

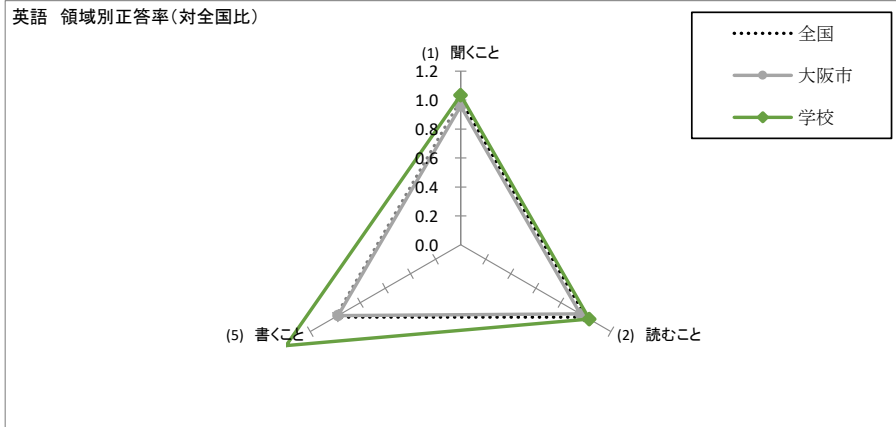
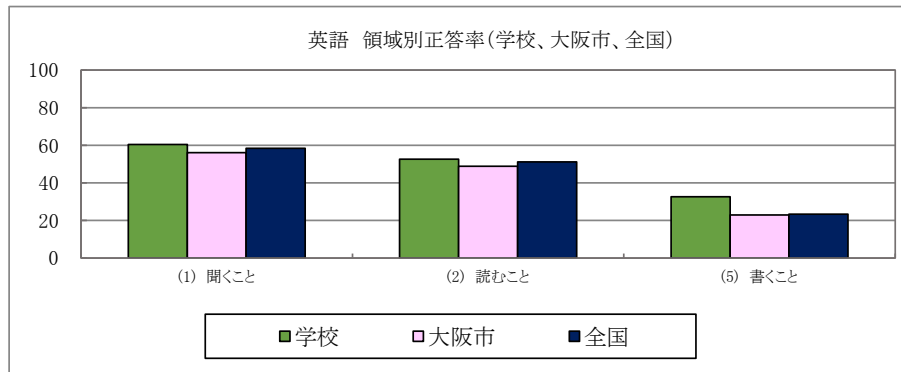


令和5年度 花乃井中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【英語】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1) 聞くこと	6	60.4	56.0	58.4
(2) 読むこと	6	52.6	48.9	51.2
(3) 話すこと[やり取り]	0			
(4) 話すこと[発表]	0			
(5) 書くこと	5	32.6	22.9	23.4



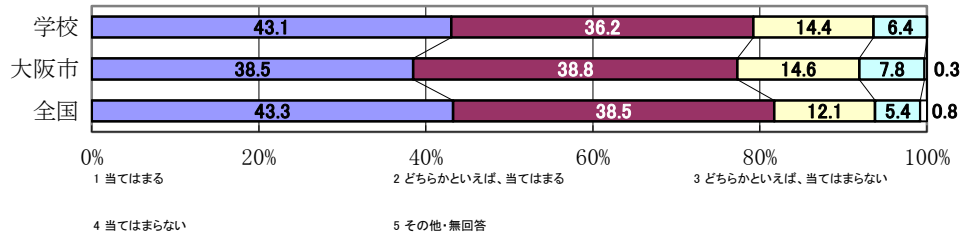
# 令和5年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 生徒質問紙より

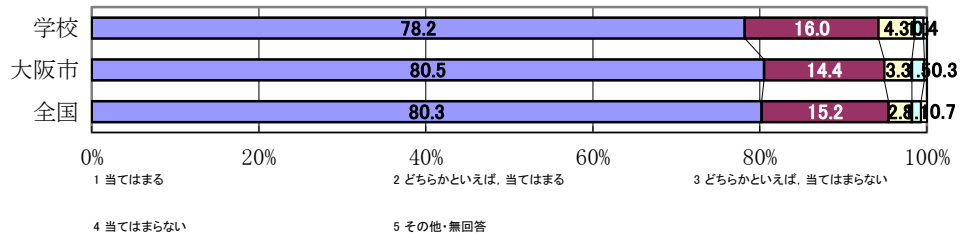
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

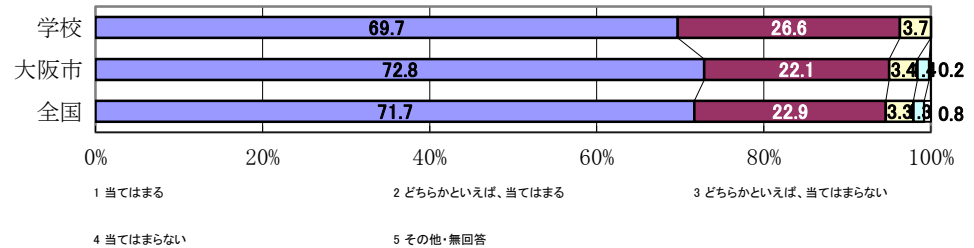
12  
学校に行くのは楽しいと思う



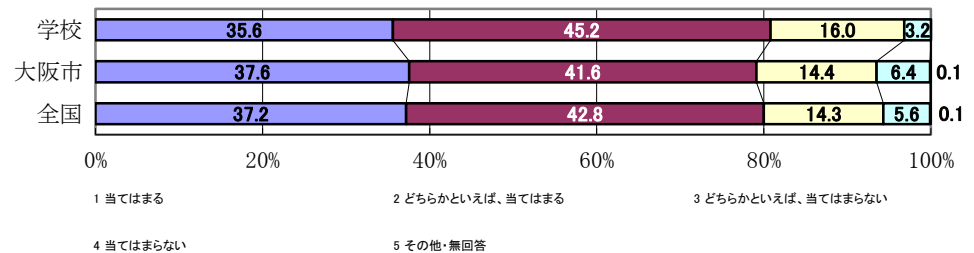
9  
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



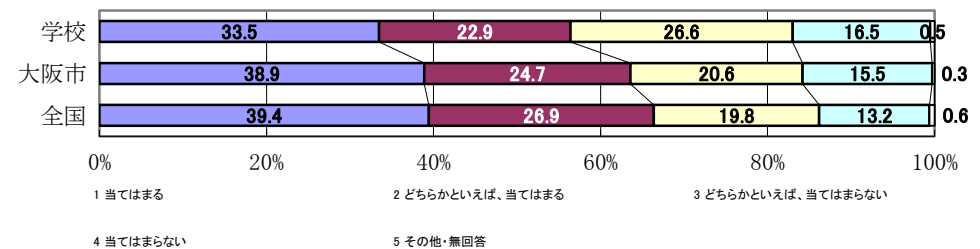
11  
人の役に立つ人間になりたいと思う



4  
自分には、よいところがあると思う



7  
将来の夢や目標を持っている



# 令和5年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

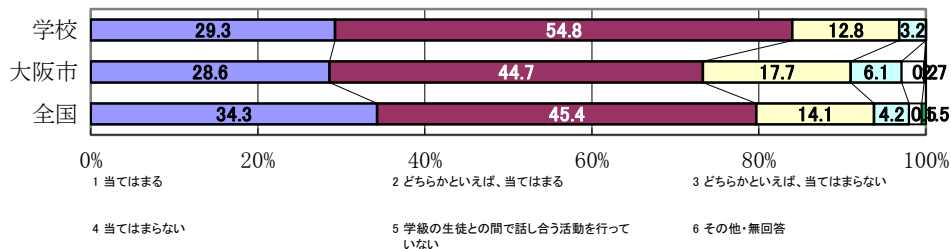
## 生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

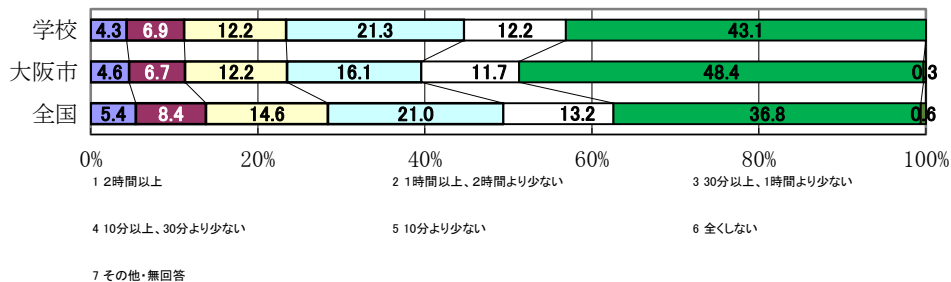
40

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



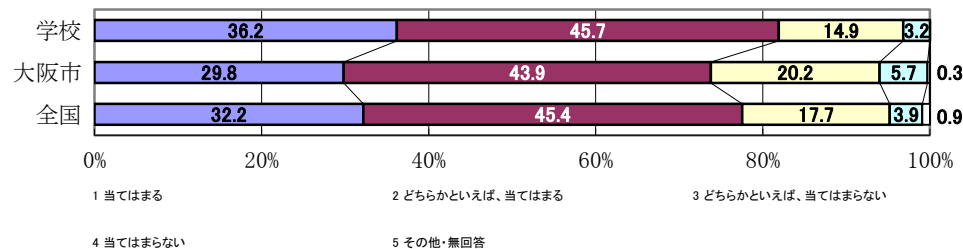
20

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含みます教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)



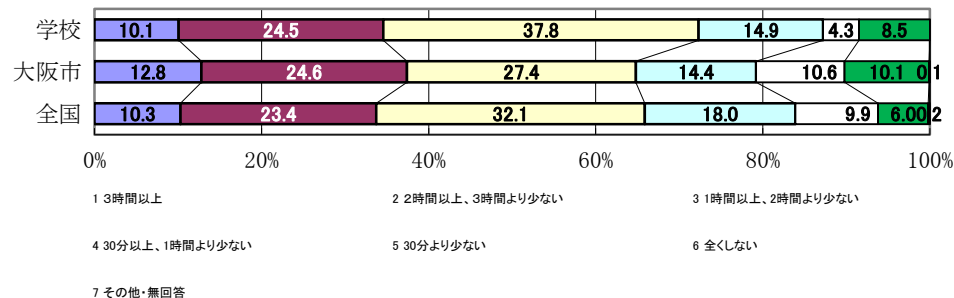
13

自分と違う意見について考えるのは楽しい



17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます)



10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる

